モンゴリアンクラブ

№４０　2023／9／1
発行：鳥取県モンゴル
中央県親善協会

第 14 回モンゴル友好交流の翼

中央県 100 周年記念ナーダムを観覧

コロナ禍を経て４年ぶりに鳥取県から 21 人が中央県を訪問し、楽しく交流しました。
今年は中央県誕生 100 周年。特設スタジアムでナーダム開会式を観覧しました。

100 周年記念品の数々

ナーダムパスポート
記念トートバッグ
デール風シャツ
シャガイ
メダル
バッジ
中央県出身芸術家の絵画等作品集

交流の翼日程

7/22	21 時 40 分モンゴル空港到着　　ホテル宿泊
7/23（日）	バスでサインシャンダへ。８時間かけて草原地帯から砂漠地帯に移動。　　ゲルホテル宿泊
7/24（月）	エネルギースポット「シャンバリーンオロン」等観光。寝台列車でウランバートルへ
7/25（火）	日本語学級生と交流 弁論大会・ミニ運動会・おにぎり作り・マンズッシリ観光。　　ホームステイ
7/26（水）	ホストファミリーと記念事業見学 バヤルフーさん農場見学 コンサート鑑賞　　ホームステイ
7/27（木）	記念ナーダム開会式観覧 バスでウランバートルに移動　　ホテル宿泊
7/28（金）	ダンバダルジャー日本人墓地跡参拝及び記念植樹、恐竜博物館見学、鳥取県にゆかりのある中央県の方々と交流　　ホテル宿泊
7/29	関空 18 時到着、鳥取に深夜帰宅

7/25・26

日本語学級の生徒と交流

日本語学級には常時 30 人程の生徒が学習しています。旅行 4 日目に日本語学級の先輩達も集まり、交流しました。子ども達は覚えた日本語で訪問団と楽しく交流しました。4 日目と 5 日目は日本語学級生宅など中央県の方々の家にホームステイをしました。

日本語弁論大会
学級生 9 人が「私の好きな事」を日本語で発表。バスケ NBA 選手を目指す、きものや忍者文化を知りたいなど、堂々と発表しました。

ミニ運動会
老若男女、本気で綱引きとパン食い競争！

日本文化体験
モンゴルの米を炊飯器で炊いてのりたまを混ぜ、おにぎりにしました。

国立公園マンズッシリ散策
子ども達が日本語で案内してくれました。

ホームステイ
やぎのごちそう、親せきも一緒など、色々な交流ができました。日本語学級生が通訳として活躍。

7/28

日本人墓地跡参拝

今回もダンバダルジャ抑留捕虜日本人死亡者慰霊碑を参拝し、記念植樹を行いました。

埋葬されていた場所に造られたモニュメントの前で般若心経を唱えました。

今回は寒冷地でも育ちやすいエゾ松を５本植樹しました。

モンゴルの 16 か所にあった日本人墓地の遺骨がダンバダルジャ１か所にまとめられました。1994 年から５年かけて遺骨を火葬し、日本に送られた説明写真が慰霊塔に展示されていました。

7/26

バヤルフーさん農場見学

バヤルフーさんは鳥取県の農業大学校で学び、当協会の支援する堆肥化施設を活用、野菜栽培農業を推進しています。農場を見学し、農場で収穫した新鮮な野菜や草原料理ホルホグをいただきました。

バヤルフーさんの農場

バヤルフーさんは、農業発展貢献により全国で史上３人目となるメダルが国から授与されました。

堆肥化施設と堆肥

ハウスのきゅうりとスイカ

こんな交流・体験も・・・

鳥取県とゆかりのあるモンゴル中央県の方々と交流しました。
また、モンゴル南東部のドルノゴビ県にある　エネルギースポット　シャンバリーンオロン周辺を観光しました。

日本語学級 OB。鳥大留学生。
卒業後、モンゴルで就労

就学支援事業で国立大学医学部を卒業

日本語学級 OB。現在、
日本文化センターに勤務

シャンバリーンオロンの赤い砂利に寝そべって解毒と新しいエネルギーの注入

往きはバスで9時間、帰りはシベリア鉄道夜行列車で。

ご案内　「第14回モンゴル友好交流の翼」報告写真展

10月1日(日)11時～14時　　米子市文化ホールホワイエ
10月3日(火)13時～8日(日)15時　とりぎん文化会館ﾌﾘｰｽﾍﾟｰｽ

令和五年度総会開催

令和5年度総会はコロナ禍を経て令和２年度以来3年ぶりに集合型で開催しました。
４月15日(土)10時半～13時半、倉吉駅１階エキパル倉吉。会員81名中、会場出席23名、委任状29名、計52名の出席。令和４年度の事業及び決算報告、令和5年度事業計画及び収支予算が承認されました。
議事に引き続き、モンゴル中央県日本語学級と総会会場をオンラインでつなぎ、子ども達と交流しました。子どもが自己紹介し、国際交流財団のビャンバさんに子どもの名前の意味を教えてもらいました。